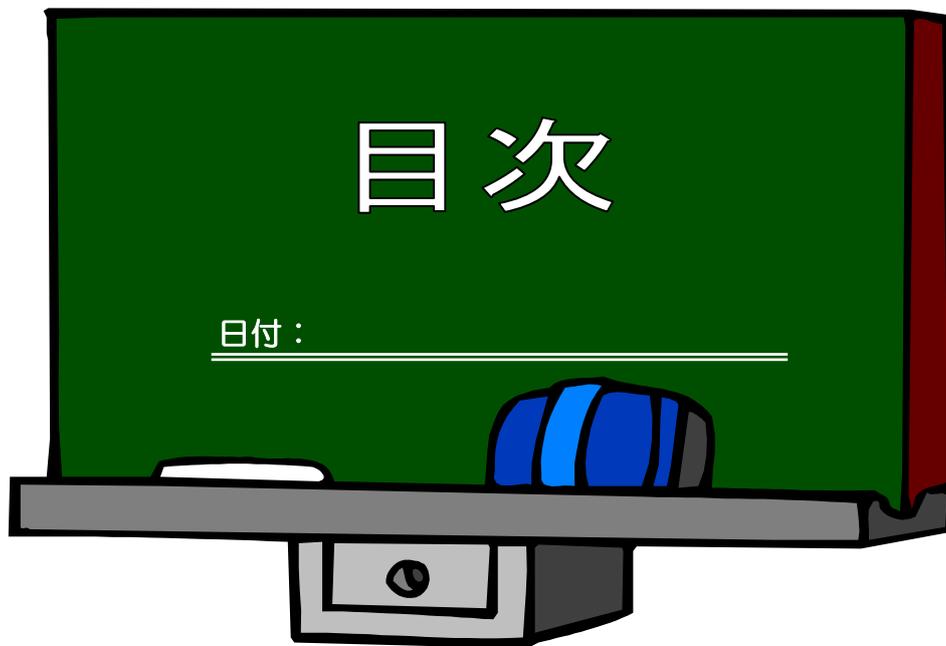


# リース業務基礎講座

(オートリース・システム編)



作成日：2004年10月01日  
最終更新日：2016年04月01日

## ■目 次

- 第1回 オートリースシステムの全体構成や用語  
業務（営業、事務）と個々のサブシステムの関係から  
全体像をつかみます。  
また、第2回に向けた用語を学びます。
- 第2回 契約情報と物件情報  
お客様(契約先、使用先、請求先)に関する情報と  
ディーラーおよび物件（自動車）に関する情報について  
説明します。
- 第3回 自動車税・軽自動車税・取得税  
確定要素や賦課期日、納付予定等について説明します。
- 第4回 重量税・自賠責保険・その他の諸費用  
課税対象や車検スケジュール確定要素、還付について  
説明します。
- 第5回 固定資産税  
償却資産種類や税率、納期、税額算出事例について  
説明します。
- 第6回 整備（メンテナンス）  
メンテナンスリースのサービス内容について説明します。
- 第7回 自動車保険  
関連する用語を説明します。

## 第8回 リース料計算

回収種類（前受金、頭金、ボーナス併用等）のパターンや回収方法（振込、口振）について説明します。

また、リース料計算の概要を説明します。

（別紙）

現在価値の算出方法を学び、原価合計と設定金利からリース料を算出したり、粗利額設定からリース料を算出し、利回りを求めます。

エクセル事例を用い説明します。

## 第9回 リース契約について

リース契約の種類、仕組み、特徴、メリットおよび契約の内容（条文や保険等）について説明します。

会計と税制

新リース会計基準に関する用語、判定フローチャート、会計処理概要について説明します。

## 第10回 おさらい（まとめ）

第2回から第8回までの内容を踏まえてデータ登録を行いながら「おさらい」をします。

車両1台にかかる事務量（一部）が見えてきます。

## 第11回 ★現在、更新中。 しばらくお待ち下さい。

オートリース業界への新規参入に関する考慮点

考慮点や課題を掲げ、一緒に検討します。

（課題例）

車両1台の事務量（時間）と必要人員からの採算ライン、収益の柱、現業との関連、仕入の力、整備工場様が持つ最前線の営業力、低金利環境の中、手数料収入以外の付加サービス（収入）等々。